

清水の滝周辺 鯉料理MAP

803年に創建され、一度焼失後江戸時代に佐賀藩初代藩主・鍋島勝茂が観世音菩薩を勧請して再興しました。清水の滝の降り口にあり、境内の弁財堂は江戸時代初期のものです。

やむを得ず抜歯に至った歯を毎年6月の上旬に納め、供養と共に人々の歯の健康を祈念しています。

清水川のほとりに建立されています「鯉の供養塔」

「清水の滝」の登り口には、鯉料理のお店が軒を列ねているよ。

清水の滝で滝うけしたい方は、こちらにお問い合わせください。
宝地院 ☎72-2840

清水屋 ☎72-2701
清竜 ☎72-2714

深松屋 ☎72-3220

鯉御殿 (たきもと) ☎73-4151

鯉ひげ ☎72-2008

白滝 ☎73-3323

ひのでや清水別館 ☎73-4451

清水の滝

全国名水百選の清水川の上流にあり、別名「珠簾(たますだれ)の滝」とも呼ばれます。
滝の傍らにある碑は、肥前国主6代鍋島宗茂(むねのり)公が大病を患った時、病氣平癒を祈願して滝にうたれ凍死した藩士倉永清雄をたえたもの。

豆知識
清水の鯉はひと味違う!!
川魚と言うとその臭みに敬遠する人が多いのですが、清水の鯉料理は違います。鯉の体内を十分にきれいにするため、冷たい清流に餌を与えず、1~2ヶ月程度晒された鯉は、見違えるように身が引き締まり、臭みもなくなり「鯉のあらい」として生まれ変わります。

秋には竹筒で作った約8,000本以上もの灯籠で遊歩道を灯し、清水の滝と周辺の紅葉を投光機でライトアップする「清水竹灯り」が開催されます。
【開催期間】11月15日~23日

開泉閣MAP
境内から美しい街並みを一望出来ます。毎年7月には山挽祇園が開催されます。また真下には源氏ポタルが飛び交う祇園川が流れています。

小城市温泉開泉閣 ☎72-2155

村岡絵本館 羊羹資料館 ☎72-2131

須賀神社

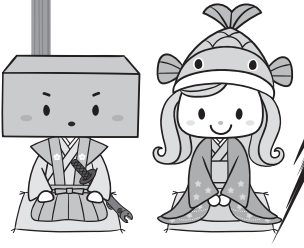
見学された方へは小城市羊羹と抹茶のサービスがあります。(団体のお客様は要予約) 国の有形文化財に登録されています。

龍水園MAP

龍水園ホテル ☎72-2200

困った時は……
小城市観光協会 ☎0952-72-7423

豆知識
清水の滝への行き方は2つ!
一つは鯉料理店「滝見屋」に向かって左側の鳥居から行く方法。石畳や階段を上っていくので、足に自身がある方にお勧め◎。
清水の滝へ早く行きたい方は、鳥居から道沿いを10m程下ったところにある石橋を渡って行く方をお勧めします。



原田集落センター

小城市松尾



第二滝見橋

福寿橋

見龍橋

清水観音

滝見屋 ☎72-3895

鯉の供養塔

歯の供養塔



参道

